

簡易郵便局を訪ねて 109

創作活動との両立、地域とともにある簡易郵便局

古屋簡易郵便局（滋賀県高島市）



局長
原 千草

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



私は十年ほど前から絵を描いており、当局の近くで開催された美術展に作品を出展するために訪れたのが、この地域を知るきっかけでした。その後この地域が魅力的だったことから引越を決め、地域の方と交流するうちに、簡易郵便局の仕事についてお聞きしました。

当時の古屋簡易郵便局は、後を継ぐ人がいないことから閉鎖していた局でした。その時までには郵便局の仕事について全く知らずに過ぎていきましたが、地域の方から受託者を探しているとお話を聞き、応募することを決めました。そして二〇一八年八月に局長となり、古屋簡易郵便局を再開局しました。

当局の周辺は茅葺の屋根をトタンで覆った家が並ぶ、まるで日本



自然にあふれた局周辺の様子

昔話に出てくるような自然にあふれたところですよ。人口は減ってきており、地域の方は高齢の方が多いです。そのため営業を積極的に行うというより、来局されたお客さまとお話をしたりして、コミュニケーションを特に大切に、地域の方との交流を怠らないようにしています。皆さんに開かれた簡易郵便

局でありたいと思っています。旅行貯金で局名の入った局名印を集めに訪れる方もいらっしゃる。夏祭りの時に山で花火が打ち上げられることをお話すると、興味を持ってまた来局していただけることもあります。



古屋簡易郵便局外観
冬には雪が降り積もる

土曜・日曜日は絵の活動を中心に行っているのですが、絵を描いていることをお話するとお客さまも興味を持ってくださって、そこから話はずんだり、新たなつながりができることもあるのが嬉しいです。

簡易郵便局は、局の仕事とやりたいこととの両立ができる、まさに今の時代にあった仕事だと思っています。都会や町にある郵便局と違い、当局のように喧騒から離れた環境で仕事ができる簡易郵便



住所 〒524-1441 滋賀県高島市朽木
古屋三六―

局もたくさんありますので、その魅力をもっと多くの方に知ってもらうことが必要だと感じています。皆さんに簡易郵便局の魅力が伝わり、今閉鎖してしまっている局も再び開局されることを願いつつ、これからも地域のお役に立っていきたくと思っています。



窓口の様子